

令和8年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立朝日丘小学校

<本年度の重点目標>

褒め言葉の飛び交う学校

前年度の課題	- 主体性をのばすために、進んで運動したり、課題等に粘り強く取り組んだりする態度を育てる必要がある。 - 基本的な生活習慣が十分に身に付いていない児童がいる。 - 全国学力・学習状況調査等の結果から、書く力、思考力・表現力に課題がみられる。 - 各学級に特別な支援を必要とする児童、知的ボーダーの児童が在籍し、学びのユニバーサルデザイン等を取り入れた授業づくりや、個に応じた適切な対応力が必要である。		
具体的な達成目標 (数値目標)	思いやりの心の育成 周りの人を褒めようと努めたと評価する児童の割合が80%以上になる。	確かな学力の育成 学ぶことを楽しみ、学んだことを共有することで学びを深めていく児童の割合が75%以上になる。	健やかな体の育成 自分の生活を見直し、改善したと評価する児童の割合が75%以上になる。
行 動 I (方策)	<方策1> ※褒め言葉や褒め方の具体例を提起し、肯定的な言葉に触れる。自分の言葉遣いを振り返り、肯定的な言葉が増えた実感できるようにする。クラス毎の成功例を共有する <方策2> ※掃除の反省会（縦割り班）や行事の振り返り（学級）等で、褒めたい人とその内容を挙げる機会を設定する。	<方策1> ※様々な場面で、友達や先生、家族等に自分の考えを話したり、相手の話を聞いたりすることで、話す力や聞く力を高める。 <方策2> ※自分の頑張りや成長を知ることができるように、発達段階に応じた振り返りを行う。	<方策1> ※委員会活動や学級活動を通して、う歯予防や近視予防、運動習慣の形成、望ましい生活リズムの確立、メディアの適切な利用等の健康的な生活習慣の形成に関わる情報を伝える。 <方策2> 一人一人が自分に合った生活目標を設定したり、自分の生活を意識して振り返ったりすることで、より健康的な生活習慣を育むことができるようにする。